



## 2020年8月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年1月14日

上場取引所 東

上場会社名 ユーピーアール株式会社

コード番号 7065

URL <https://www.upr-net.co.jp/>

代表者（役職名）代表取締役社長

（氏名）酒田 義矢

問合せ先責任者（役職名）経営企画部長

（氏名）石村 浩 TEL 03 (3593) 1728

四半期報告書提出予定日 2020年1月14日

配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

### 1. 2020年8月期第1四半期の連結業績（2019年9月1日～2019年11月30日）

#### （1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年8月期第1四半期	3,127	ー	354	ー	394	ー	308	ー
2019年8月期第1四半期	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー

（注）包括利益 2020年8月期第1四半期 272百万円（－％） 2019年8月期第1四半期 ー百万円（－％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年8月期第1四半期	40.34	ー
2019年8月期第1四半期	ー	ー

（注）1. 当社は、2019年8月期第1四半期については、四半期連結財務諸表を作成していないため、2019年8月期第1四半期の数値及び2020年8月期第1四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。  
2. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年8月期第1四半期	17,166	6,066	35.2
2019年8月期	16,882	5,856	34.6

（参考）自己資本 2020年8月期第1四半期 6,046百万円 2019年8月期 5,836百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年8月期	ー	ー	ー	40.00	40.00
2020年8月期	ー	ー	ー	ー	ー
2020年8月期（予想）	ー	ー	ー	10.00	10.00

（注）1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2. 当社は、2019年12月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。2019年8月期の期初に上記分割が行われたと仮定した場合の2019年8月期の配当金は8円00銭となります。

3. 2020年8月期の連結業績予想（2019年9月1日～2020年8月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,500	7.1	975	28.8	1,200	19.0	775	35.2	101.18

- （注） 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無  
 2. 当社は、2019年12月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。当連結会計年度の期初に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり当期純利益を算定しております。

※ 注記事項

- （1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
 新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

- （2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

- （3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無  
 ② ①以外の会計方針の変更：無  
 ③ 会計上の見積りの変更：無  
 ④ 修正再表示：無

- （4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年8月期1Q	7,660,000株	2019年8月期	7,660,000株
② 期末自己株式数	2020年8月期1Q	290株	2019年8月期	160株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年8月期1Q	7,659,777株	2019年8月期1Q	ー株

- （注） 1. 当社は、2019年12月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。  
 2. 当社は、2019年8月期第1四半期については、四半期連結財務諸表を作成していないため、「期中平均株式数（四半期累計）」を記載しておりません。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、当社グループは、当第1四半期連結累計期間より、報告セグメントの区分方法を変更しております。詳細は、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（1）経営成績に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における経済環境は、企業収益は高い水準にあり、雇用・所得環境の改善が続くなか、引き続き緩やかな回復基調が続いています。一方、米中の通商問題により中国経済の先行き等が不安視され、不透明な経済状況が続いております。

物流業界においては、トラックドライバーの高齢化や人手不足はさらに深刻化しております。そのため運送会社各社がパレット輸送や共同配送を積極的に推進したことからレンタルパレットの需要は引き続き高水準にあります。

このような環境の中、当社グループは、堅調な保管用レンタルパレットに加え、家庭紙メーカーの共同利用・共同回収が順調に推移することで、輸送用レンタルパレットも好調でした。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は3,127百万円、営業利益は354百万円、経常利益は394百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は308百万円となりました。

なお、当社グループは、当第1四半期連結累計期間より、報告セグメントの区分方法を変更しております。各セグメントに係る主な事業内容の変更と主要な関係会社の異動は、概ね次のとおりです。

#### (物流事業)

コネクティッド事業のIoT事業部のうち、追跡ソリューション等物流事業と親和性の高い事業を物流事業へ移管し、物流IoT事業部としました。この変更に伴い、関係会社のUPR Services Inc. もコネクティッド事業から物流事業へ異動しました。

#### (コネクティッド事業)

コネクティッド事業のIoT事業部のうち、物流事業と関連性の低い事業をICT事業部とし、主に遠隔監視ソリューションを提供しております。

各セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

#### (物流事業)

各企業の物流に対する関心は引き続き高く、トラックドライバーの有効求人倍率は依然として高い水準が続いており、更なる効率化・省力化が求められています。トラックドライバー確保のために手積み・手降ろしから、共同輸送やパレット輸送へ切り替える動きが活発になったことでレンタルパレットの需要は高まりました。また、2019年9月4日に動力（モーター）付きアシストスーツの新商品「サポートジャケットEp+ROBO（略称：イーピープラスロボ）」を発表し、10月1日からデイリーレンタル・サブスクリプション及び販売を開始しました。

以上の結果、物流事業では、売上高2,908百万円、セグメント利益589百万円となりました。

#### (コネクティッド事業)

遠隔監視ソリューションにおける機器販売が増加し、カーシェアリングシステムのレンタル及び販売が顧客の増車計画に沿って順調に推移しました。

以上の結果、コネクティッド事業では売上高218百万円、セグメント利益11百万円となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は5,008百万円となり、前連結会計年度末に比べ256百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金が169百万円減少したことによるものであります。固定資産は12,158百万円となり、前連結会計年度末に比べ540百万円増加いたしました。これは主に有形固定資産が609百万円増加したことによるものであります。

この結果、資産合計は17,166百万円となり、前連結会計年度末に比べ284百万円増加いたしました。

#### (負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は5,533百万円となり、前連結会計年度末に比べ331百万円増加いたしました。これは主に短期借入金1,000百万円増加したこと、及び1年内返済予定の長期借入金が615百万円減少したことによるものであります。また固定負債は5,566百万円となり、前連結会計年度末に比べ258百万円減少いたしました。これは主に長期借入金283百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は11,100百万円となり、前連結会計年度末に比べ73百万円増加いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は6,066百万円となり、前連結会計年度末に比べ210百万円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年8月期の業績予想につきましては、2019年10月15日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,023,321	2,854,092
受取手形及び売掛金	1,699,789	1,642,296
電子記録債権	90,583	121,088
商品	174,336	159,888
原材料及び貯蔵品	14,652	18,178
その他	274,218	217,587
貸倒引当金	△12,303	△4,997
流動資産合計	5,264,598	5,008,134
固定資産		
有形固定資産		
レンタル資産（純額）	8,188,008	8,834,912
その他（純額）	2,289,580	2,252,301
有形固定資産合計	10,477,589	11,087,214
無形固定資産	338,729	373,776
投資その他の資産		
その他	813,879	709,716
貸倒引当金	△11,950	△11,950
投資その他の資産合計	801,929	697,766
固定資産合計	11,618,248	12,158,757
資産合計	16,882,846	17,166,891

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2019年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年11月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,989,940	1,928,257
短期借入金	—	1,000,000
1年内返済予定の長期借入金	2,358,038	1,743,030
未払法人税等	220,020	195,559
賞与引当金	217,440	324,516
役員賞与引当金	—	10,111
その他	415,808	331,696
流動負債合計	5,201,248	5,533,170
固定負債		
長期借入金	5,211,458	4,928,162
役員退職慰労引当金	431,045	439,595
退職給付に係る負債	168,441	184,326
資産除去債務	14,035	14,080
その他	369	696
固定負債合計	5,825,350	5,566,860
負債合計	11,026,598	11,100,031
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	96,000	96,000
資本剰余金	391,349	391,349
利益剰余金	5,324,164	5,571,876
自己株式	△176	△327
株主資本合計	5,811,337	6,058,898
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	36,682	1,380
為替換算調整勘定	△11,719	△13,366
その他の包括利益累計額合計	24,963	△11,986
非支配株主持分	19,947	19,947
純資産合計	5,856,248	6,066,860
負債純資産合計	16,882,846	17,166,891

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第1四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	当第1四半期連結累計期間 （自 2019年9月1日 至 2019年11月30日）
売上高	3,127,156
売上原価	1,923,467
売上総利益	1,203,688
販売費及び一般管理費	849,522
営業利益	354,166
営業外収益	
受取利息及び配当金	208
受取補償金	30,865
為替差益	10,799
その他	6,612
営業外収益合計	48,485
営業外費用	
支払利息	7,929
その他	34
営業外費用合計	7,964
経常利益	394,687
特別利益	
固定資産売却益	299
投資有価証券売却益	66,724
特別利益合計	67,024
特別損失	
固定資産除却損	57
特別損失合計	57
税金等調整前四半期純利益	461,654
法人税、住民税及び事業税	188,947
法人税等調整額	△36,284
法人税等合計	152,663
四半期純利益	308,991
非支配株主に帰属する四半期純利益	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	308,991

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年9月1日 至 2019年11月30日)
四半期純利益	308,991
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	△35,302
為替換算調整勘定	△1,646
その他の包括利益合計	△36,949
四半期包括利益	272,041
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	272,041
非支配株主に係る四半期包括利益	—

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間（自 2019年9月1日 至 2019年11月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	物流事業	コネクティッド 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,908,200	218,955	3,127,156	—	3,127,156
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—
計	2,908,200	218,955	3,127,156	—	3,127,156
セグメント利益	589,653	11,802	601,455	△206,768	394,687

（注） 1. セグメント利益の調整額△206,768千円には、セグメント間取引消去△31千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△206,736千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費並びに営業外損益であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。